

講義要項 (シラバス)

第二学期

	受講ガイダンス (波多野、進藤)	平成 24 年 9 月 4 日	本講座の趣旨、講師陣、履修要領などを説明。
--	---------------------	--------------------	-----------------------

回	担当者	開講日	講義内容
1	谷口 誠	9 月 11 日	自著『東アジア共同体』（岩波新書）に基づき、東アジア共同体の可能性を EU や NAFTA の先行する試みを参考にしつつ議論する。1 学期講義の総論に相当する。
2	伊藤憲一	9 月 18 日	東アジア共同体評議会議長として、共同体構築の実践的課題を日本の外交戦略と関連させつつ議論する。
3	山下彰一	9 月 25 日	東アジア地域の経済発展の歴史的検証を踏まえ、アジア各国の経済発展の観点からアジア共同体構想の行方を探る。
4	赤尾信敏	10 月 3 日	駐タイ大使や日本アセアンセンター事務総長の経験を踏まえ、ASEAN 統合の現状と日本の対応のあり方について口述する。
5	近藤健彦	10 月 17 日	プラザ合意に立ち会った経験などを踏まえ、東アジア共通通貨構想の意義について講義する。
6	後藤康浩	10 月 24 日	『アジア力』などの著書を踏まえ、中国の脅威に対抗するために日本オリジナルのビジネスモデルを構築し、成功を収めている企業の現場について講義。
7	黒瀬直宏	10 月 31 日	長年の中小企業に関する調査研究の成果を踏まえ、中小企業の発展とアジア共同体構築の関係を講義。
8	孫崎享	11 月 7 日	最近の TPP（環太平洋経済連携プログラム）に関する議論と、アジア共同体との関連について考える。
9	西原春夫	11 月 14 日	アジア平和貢献センター理事長として、21 世紀アジアを日本の「平和貢献」という観点から展望する。1 学期の総括的講義となる。
10	明石 純一 (試験担当)	11 月 21 日	第 2 学期 試験

	特別講義 I	11 月 28 日	佐藤洋治理事長、進藤顧問による特別講演などを予定。公開講演会を兼ねる。
--	--------	-----------	-------------------------------------

第三学期講義要項

回	担当者	開講日	講義内容
1 1	関 志雄	平成 24 年 12 月 5 日	産業経済研究所、野村市場研究所のフェローとしての調査研究実績を基礎に、中国の経済改革とアジア共同体構想との関連をどう見るかについて講述。
1 2	青木 保	12 月 12 日	文化人類学者（元文化庁長官）として、異文化理解という観点から、アジア共同体の構築要件を考える。
1 3	豊田 隆	12 月 19 日	東アジアの食糧安全保障という観点から、地域協力求められるもの、あるいは地域協力の限界を探る。
1 4	大泉啓一郎	平成 25 年 1 月 9 日	アジアの人口問題や都市化という観点から、アジアの現状と共同体の可能性を議論する。
1 5	松下和夫	1 月 16 日	「環境ガバナンス」という観点から、東アジアの環境問題に市民やNGO団体がどうかかわるべきかを議論する。
1 6	鈴木 隆	1 月 23 日	アジアの地域統合について、理論的な観点からその可能性と限界を探る。
1 7	河合正弘	1 月 30 日	アジアにおける経済格差、教育・医療といった分野の社会的格差の現状と中国のかかわりを中心に講義。
1 8	藤田昌久	2 月 6 日	グローバル化と地域統合の関連を「空間経済学」という新たな経済学的手法によって分析し、特にアジア地域の経済統合の可能性を探る。
1 9	山本武彦	2 月 13 日	「人間安全保障」という観点から、アジアにおける安全保障の多様なあり方を探り、共同体構築に必要な条件を考える。
2 0	明石純一 (試験担当)	2 月 27 日	第 3 学期試験

	特別講義Ⅱ	3 月 6 日	佐藤洋治理事長、進藤顧問などによる特別講演を予定。公開講演会を兼ねる。
--	-------	---------	-------------------------------------